



IMV株式会社

決算説明資料

2025年9月期

中間期

設備投資



埼玉県 入間市の日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)を改築し、EMC試験専用棟を新設。
これまで主に自動車関係のお客様に提供してきた**EMC試験**(電磁適合性試験)を強化し、40GHzまでのエミッションおよびイミュニティ試験に対応可能とすることで、航空・宇宙・防衛向けに可能範囲を拡大。2025年6月稼働を予定しており、既に多くの引き合いをいただいている状況

新規引き合い



AIの普及・発展に伴い高度化・複雑化・高額化が進む**AIサーバー**に対して使用する振動試験装置の引き合いを、アジア中心に複数獲得。
新たな市場としての可能性に期待しお客様との密な連携、調査などを進める

防災



昨年販売を開始した地震計、**“スリーエス地震計「SW-5033」”**が一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2025」において、**優秀賞を受賞**。社会全体のレジリエンス向上に資する技術として高い評価を受けた

・第2四半期累計では3期連続の増収 / 増益
・引き合い、受注も引き続き好調で下期へ堅調な見通し

売上高(中間期)

増減 +21.2%

9,525百万円

営業利益(中間期)

増減 +21.7%

1,479百万円

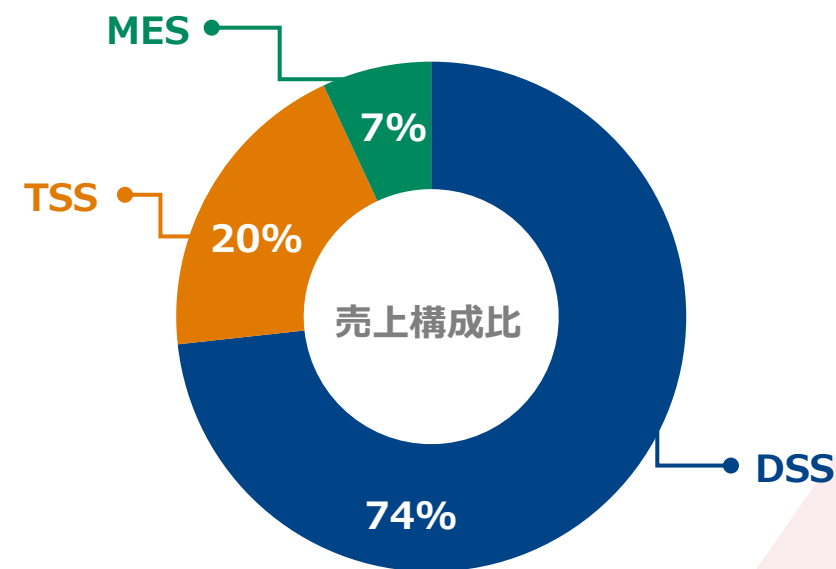
EBITTDA(中間期)

増減 +19.9%

1,765百万円

(単位：百万円)

	24/9期 中間期	25/9 中間期	増減
DSS 振動シミュレーションシステム	5,609	7,003	+24.8%
TSS テスト&ソリューションサービス	1,537	1,867	+21.5%
MES メジャリングシステム	713	655	△8.1%



決算概要（連結）①

・売上高が大幅増(+21%)
・増収効果が牽引し各段階利益も増加

(単位：百万円)

	24/9期 中間期	25/9期 中間期	増減	
売上高 (百万円)	7,861	9,525	+1,664	売上高
営業利益 (百万円)	1,215	1,479	+264	(+) 国内、アジア地域でDSSが好調
営業利益率 (%)	15.5%	15.5%	+0.0pt	(-) MESは下期偏重計画のため前期比減収
経常利益 (百万円)	1,303	1,567	+264	利益
経常利益率 (%)	16.6%	16.5%	△0.1pt	(+) 粗利率の高い案件の増加
中間純利益 (百万円)	1,086	1,194	+107	(-) 一部部材の高騰
中間純利益率 (%)	13.8%	12.5%	△1.3pt	(-) 人的資本に関する投資増加
EPS (1株当たり当期純利益) (円)	66.28	75.11	+8.83	

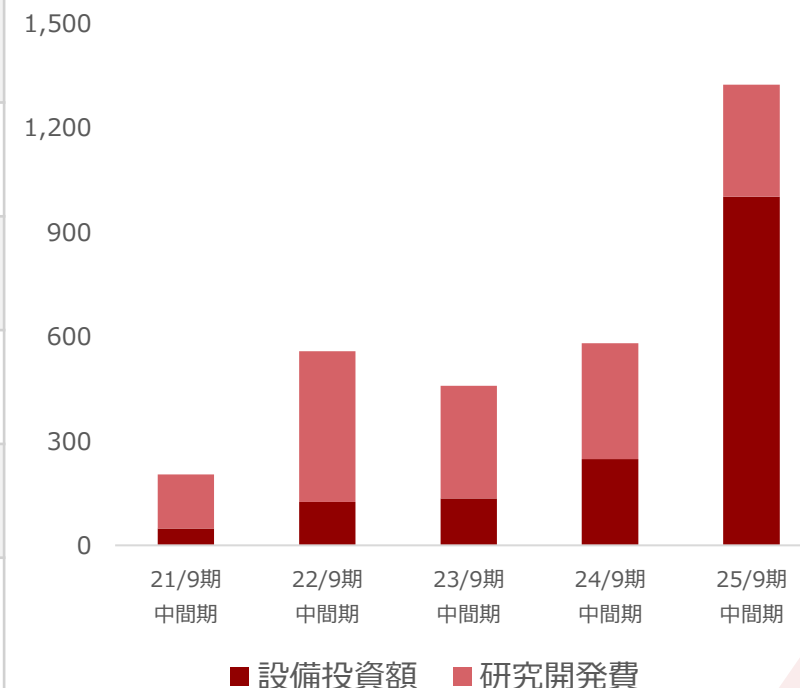
決算概要（連結）②

- ・日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)の改築/増強を中心に大幅な設備投資額増
- ・前年同期と比較して株価が2倍以上へ

(単位：百万円)

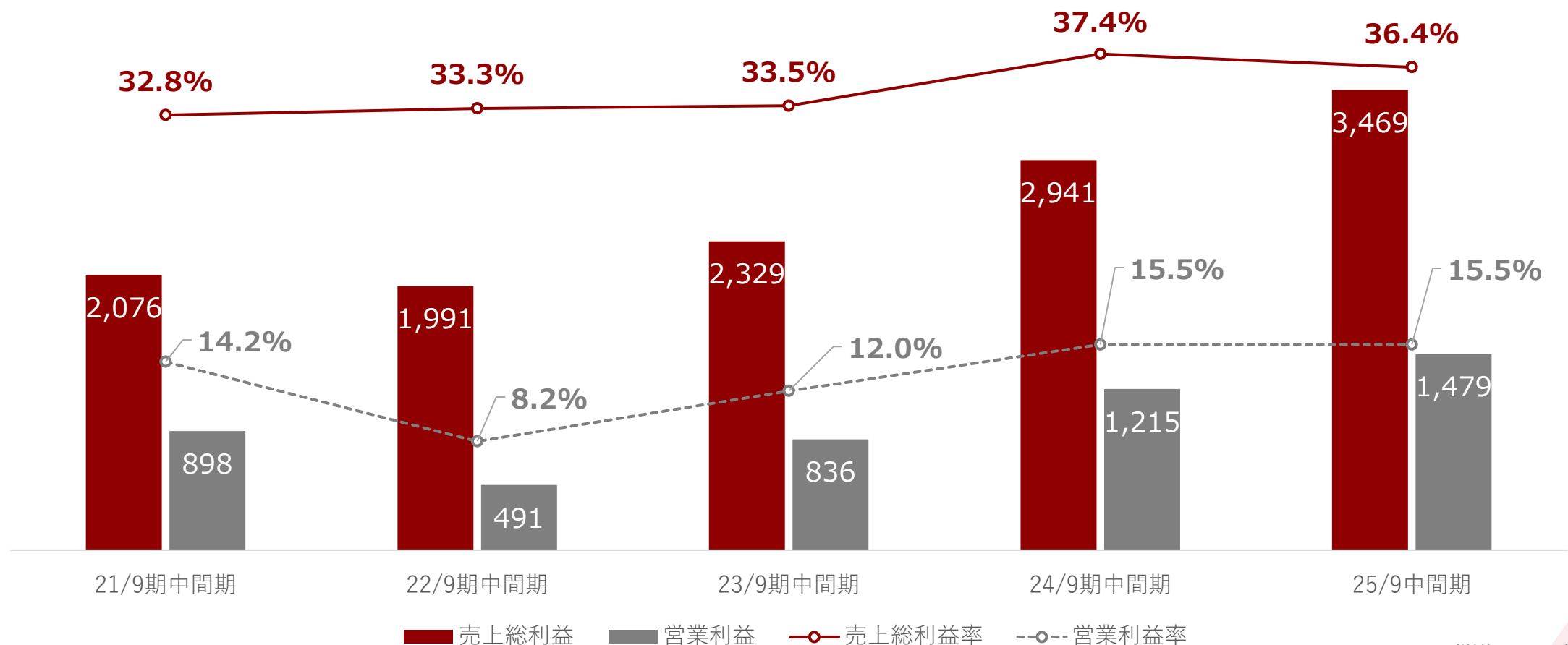
	24/9期 中間期	25/9期 中間期	増減
設備投資額 (百万円)	248	1,000	+751
減価償却費 (百万円)	256	285	+29
研究開発費 (百万円)	332	322	△9
第2四半期末株価 (円)	638	1,548	+910
第2四半期末時価総額 (自己株式を除く) (百万円)	10,257	24,632	+14,375

設備投資額および研究開発費の推移



売上総利益および営業利益の推移

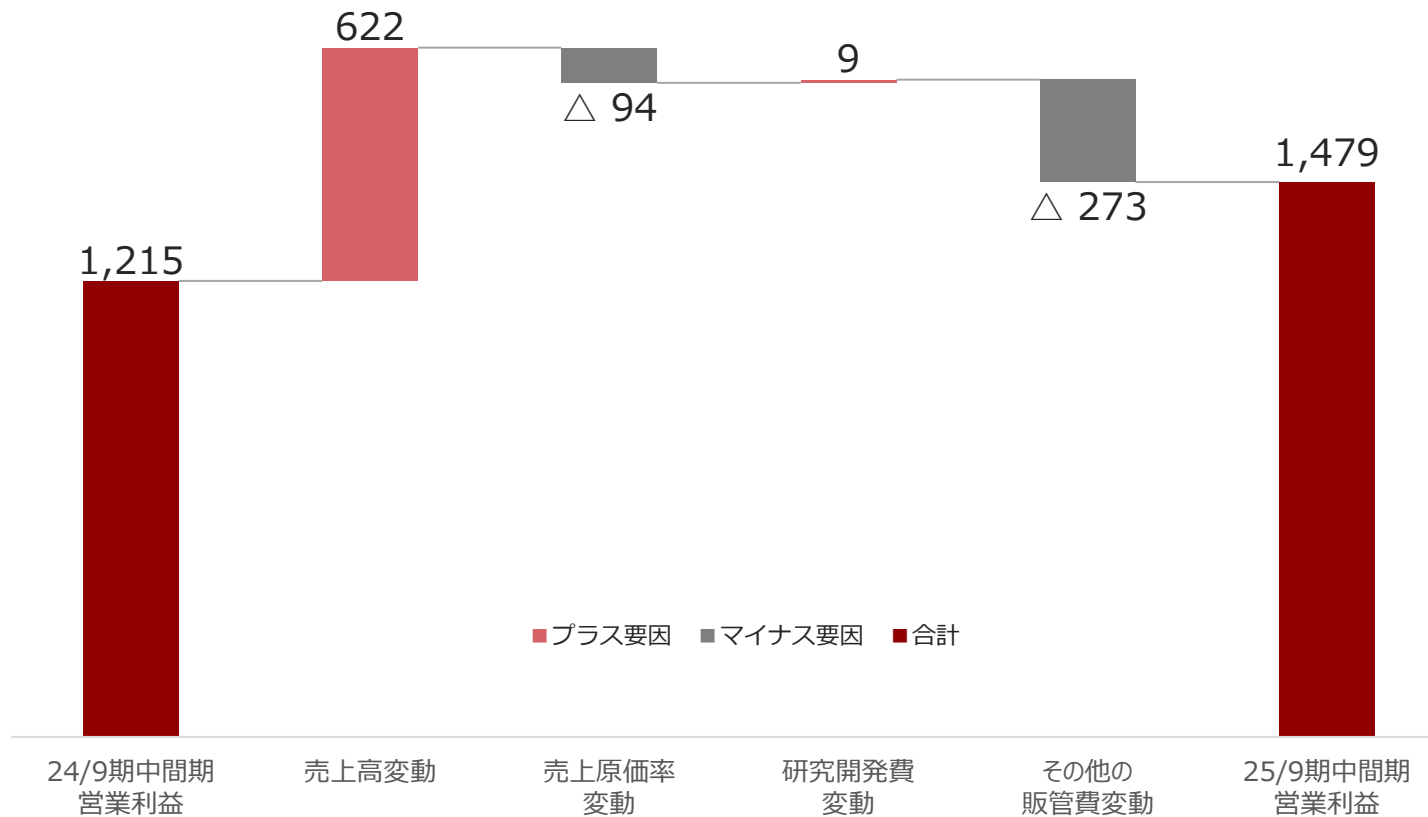
売上総利益は前年同期に特殊案件による上振れがあった反動で低下したものの、セールのミックスの変化や利益率の高い案件の獲得などで高水準を維持



(単位：百万円)

営業利益増減要因

販管費が増加した影響を増収効果が上回ることで営業利益は増加

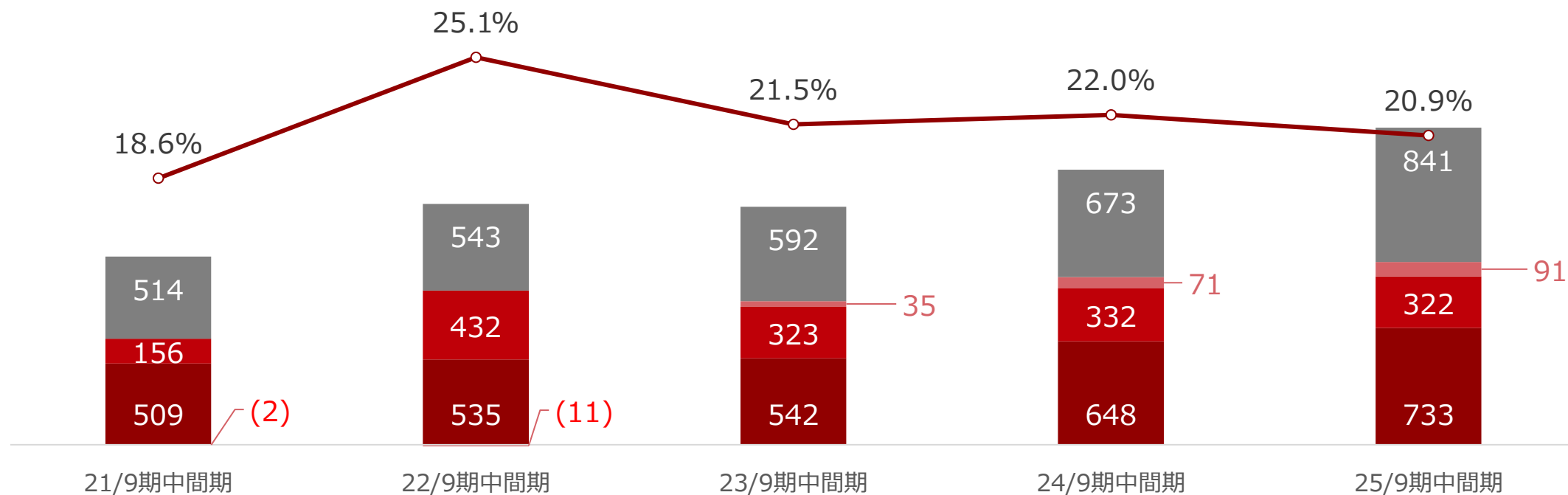


(単位：百万円)

24/9期中間期 営業利益	1,215
売上高変動による影響	+622
売上原価率変動による影響	△94
研究開発費変動による影響	+9
その他の販管費変動による影響	△273
25/9期中間期 営業利益	1,479

販売費及び一般管理費の内訳

販売増に伴い金額が増加するも、売上高に占める割合は減少



■ 人件費 ■ 研究開発費 ■ 各種引当金繰入額 ■ その他販管費 ○ 販管費率(対売上高)

(単位：百万円)

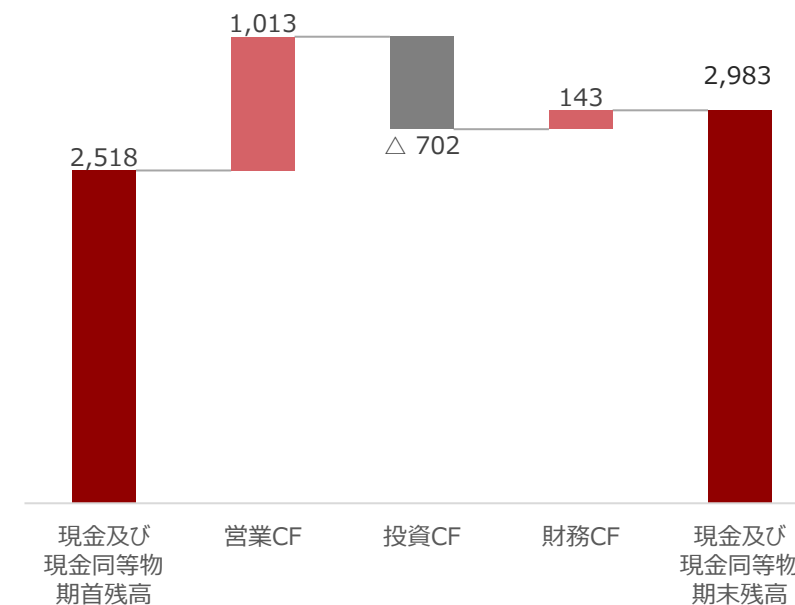
キャッシュフローおよび資本の状況

主に設備投資による資金流出の影響で前年同期比では
少額となるものの、フリー・キャッシュ・フローはプラスを維持

(単位：百万円)

	24/9期 中間期	25/9期 中間期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,106	1,013	△92
フリー・キャッシュ・フロー	848	310	△538
現金及び現金同等物残高	2,765	2,983	+217
自己資本	10,031	11,122	+1,091
自己資本比率	51.0%	51.2%	+0.2pt

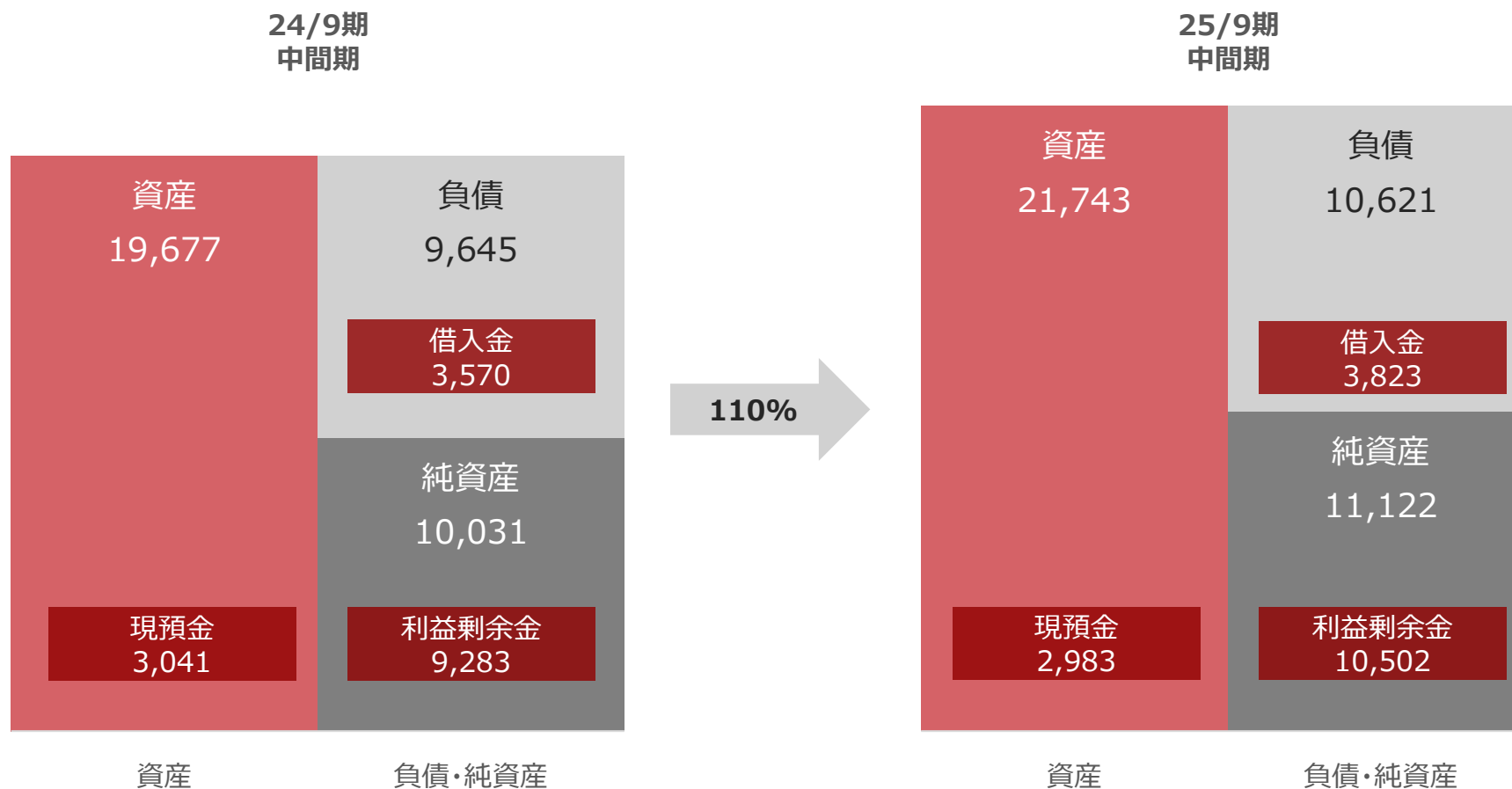
キャッシュフローの推移



* 差額は現金及び現金同等物に係る換算差額

- ・主に営業債権と有形固定資産の増加で資産が増加
- ・借入金の比率は低く財務健全性は良好

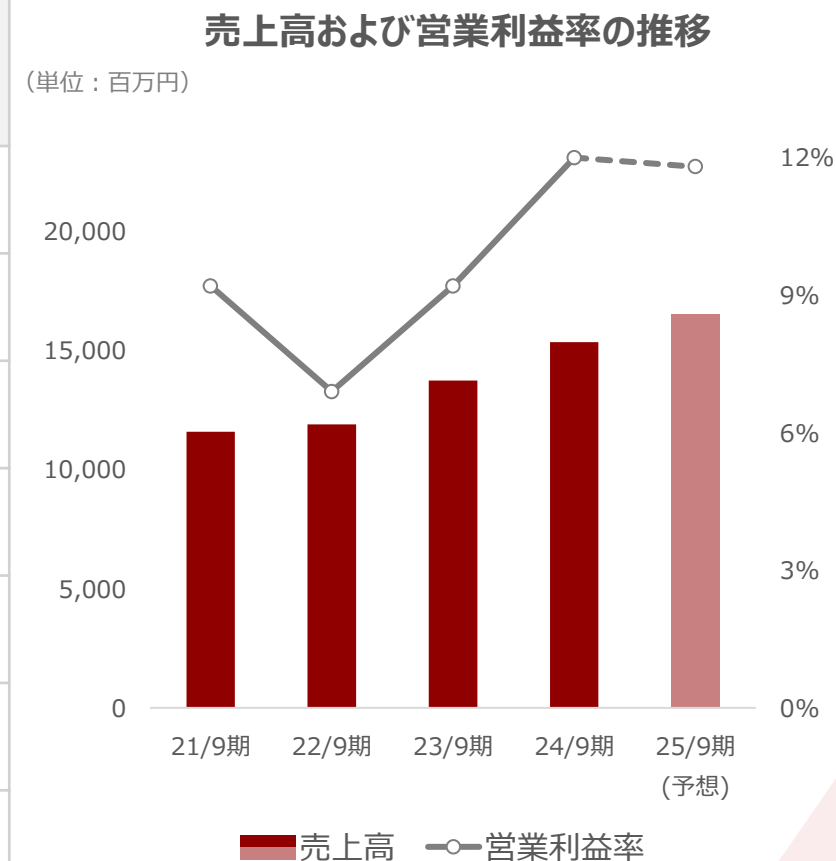
(単位：百万円)



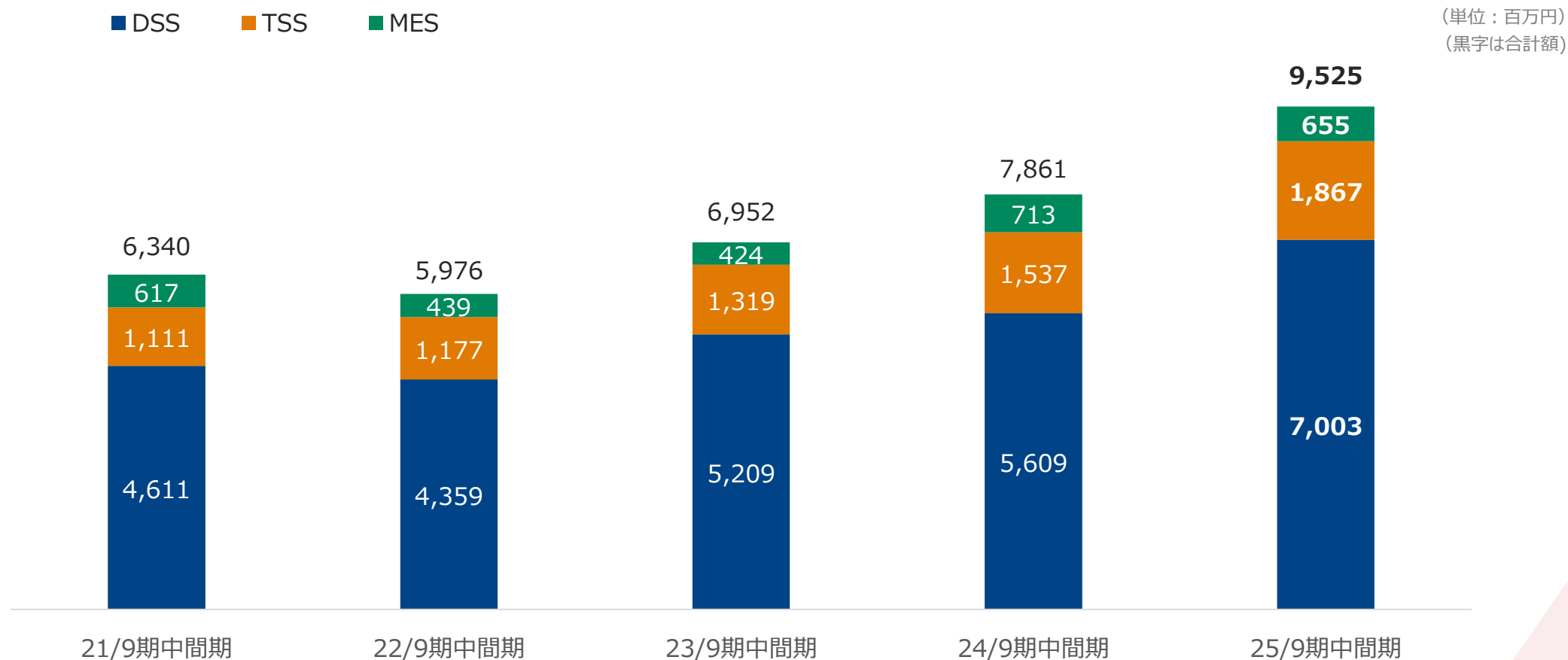
業績の見通し（通期・連結）

米国関税が営業利益を最大50百万円程度押し下げる可能性(資料公開時点)

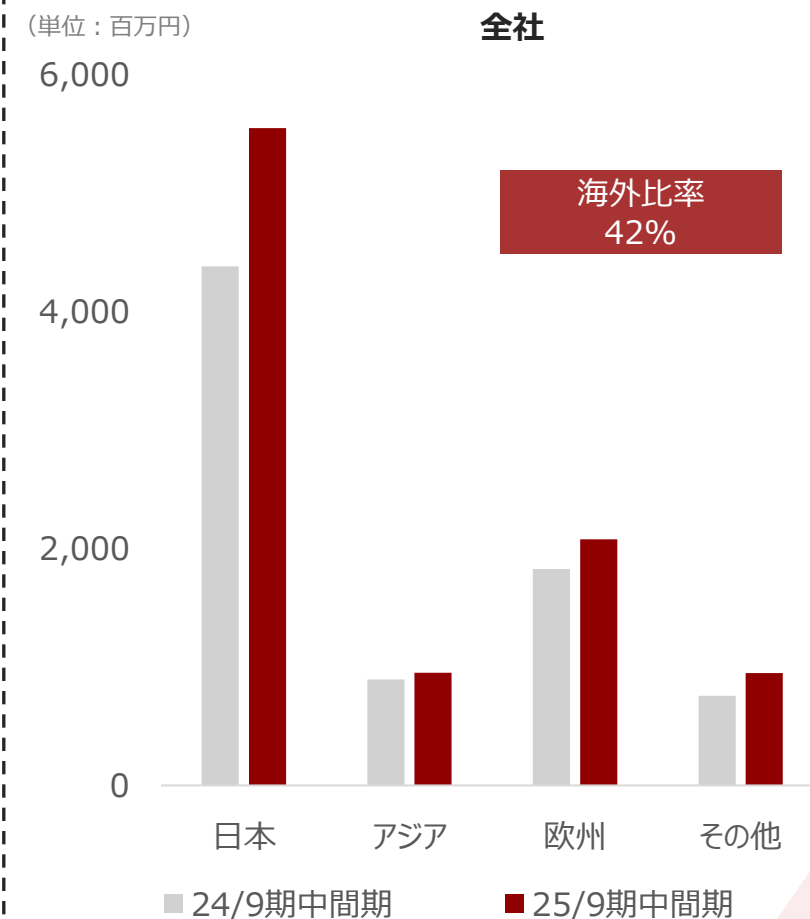
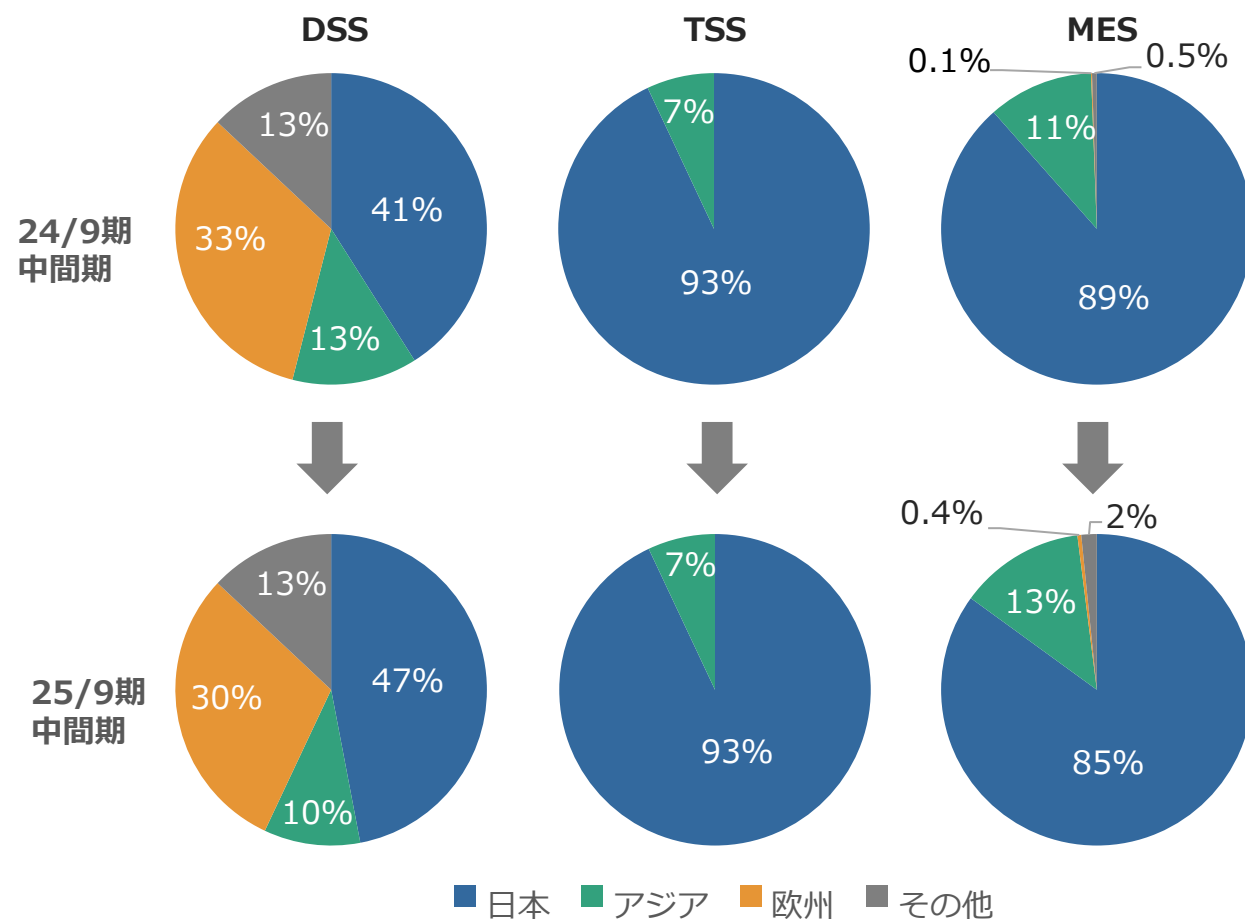
	24/9期 実績	25/9期 予想	増減
売上高(百万円)	15,340	16,500	+ 7.6%
営業利益(百万円)	1,847	1,950	+ 5.5%
経常利益(百万円)	1,853	1,950	+ 5.2%
当期純利益（親会社株主帰属）(百万円)	1,428	1,500	+ 5.0%
売上高営業利益率(%)	12.0	11.8	△0.2pt
1株当たり当期純利益(円)	88.75	93.18	-
1株当たり配当金(円)	20.0	24.0	-



- ・DSSの売上伸長が全体を牽引し大幅な増収
- ・TSSは継続して事業が拡大傾向、継続的な投資の効果も現れている



DSSにおいて日本国内の自動車関連 / 防衛産業向け大型案件に
恵まれたことで国内向けの販売比率が増加



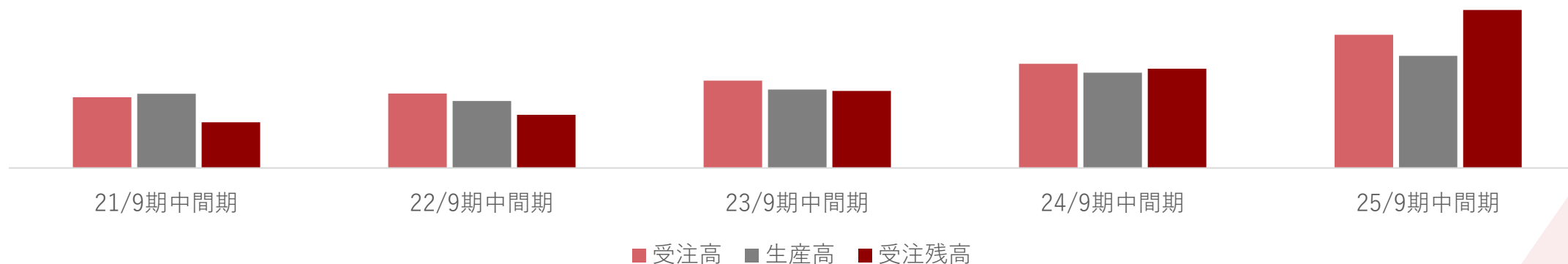
事業別 受注高・生産高・受注残高

- ・受注高＞生産高の流れが続き、受注残高が増加
- ・工場の生産エリア拡大を行い、生産キャパシティ増加

(単位：百万円)

	受注高			生産高			受注残高		
	24/9期 中間期	25/9期 中間期	増減	24/9期 中間期	25/9期 中間期	増減	24/9期 中間期	25/9期 中間期	増減
DSS	6,772	8,931	+31.9%	5,864	7,022	+19.7%	7,772	12,611	+62.3%
TSS	1,538	1,828	+18.8%	1,527	1,867	+22.3%	314	525	+66.9%
MES	556	581	+4.4%	722	655	△9.3%	359	326	△9.1%
全社	8,868	11,341	+27.9%	8,114	9,546	+17.6%	8,445	13,462	+59.4%

全社

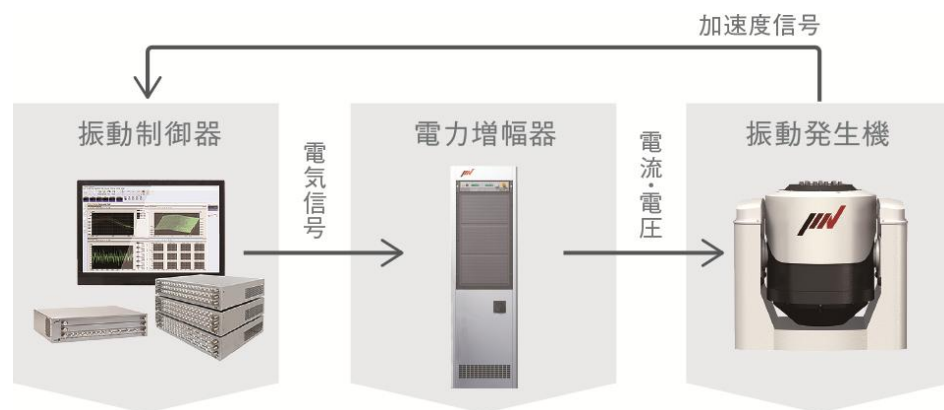


売上高

7,003百万円

(+24.8%)

- 国内市場は自動車関連・防衛産業向けが牽引し大幅に伸長
大型装置や特殊装置の需要が旺盛
- 海外市場では欧州の自動車関連、米国の航空宇宙向けが堅調に推移
- 時流の変化に即し、AIサーバ関連の新たな需要を開拓

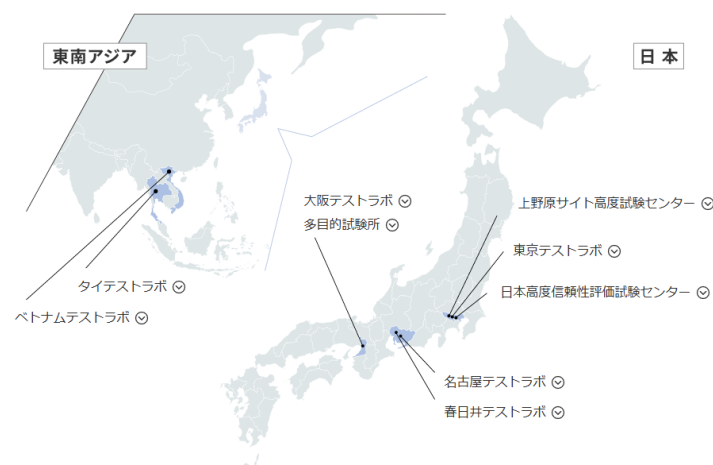


売上高

1,867百万円

(+21.5%)

- 電気自動車関連や航空宇宙関連の振動試験、EMC試験が堅調に推移
- 投資を行っていた案件が2025年に相次いでオープン
 - 1月 - 大阪本社に多目的試験所を開設
 - 5月 - ベトナム2拠点目の試験場をホーチミン市に開設
 - 6月 - 日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)のEMC試験強化



振動試験

バッテリー試験

耐震試験

コネクタ評価試験

S&R試験

乗り心地試験

落下試験

長尺試験

環境試験

多点加振試験

ひずみ計測

Etc...

試験所認定
ISO/IEC17025

情報セキュリティ認定
ISO27001

売上高

655百万円

(▲8.1%)

- 公共インフラや民間施設における防災関連需要が堅調に推移したものの、当期計画は下期偏重のため売上高は前年同期比で減収
- 昨年販売を開始した地震計が「ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞)2025」において優秀賞を受賞
- インドネシアへの地震モニタリングシステム導入を目指しJICA Biz ビジネス化実証事業に採択



「経済産業省 令和3, 4年度産業標準化進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業: 産業基盤分野に係る国際標準開発活動 Smart Community Infrastructureを活用した防災に関する国際標準化」にて作成



事前にIMV株式会社の許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止致します。
本資料に掲載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。
本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は公表時点で入手可能な情報に基づいており、
将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

お問合せ先

IMV株式会社 経営戦略室



Eメール
info-ir@imv-corp.com



IR情報
<https://we-are-imv.com/about/ir/>